

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R5(2023).2.10
豊岡市のホームページにもアップしています

No.8

演劇ワークショップ③

1、2回目のワークショップとの違いは、ここです！

- | | | |
|-----------------------|--------------------|-------------------|
| 《1回目》 | 《2回目》 | 《3回目》 |
| (1) 変身したの？
(なりたいもの | ⇒ 何をやってるの？
⇒ 動き | ⇒ ここはどこ？
⇒ 場所) |
| (2) 自分で決める | ⇒ くじで決まる | ⇒ くじで決める |
| (3) 個人で表現 | ⇒ グループで表現 | ⇒ グループで表現 |
- 一つの「場所」を表現するためには、これまで以上にそれぞれのイメージをグループで共有する(協働する)ことが求められます。

あっ、3匹が合体したぞ！
ここはいったいどこ？



ここで問題です。次のグループはどんな「場所」を表しているでしょうか？

- 体や腕が大きく揺れて波打っています。
- 小さな生き物が3匹寄ってきて、何かをつついています。
- あっ、3匹が合体して、大きな生き物に変身しました。ゆっくり、のんびり泳いでいます。

授業における5つの
「徹底・継続」実践事項の
質を高める②

多様な考えを引き出す発問をしていますか？

「考えを発表する場をつくる」ことは、子どもたちが主体的に参加する授業を行うためには欠かせません。大切なのは、発問の質と発言内容の整理です。

「子どもの連続発言、何人まで待てますか？」

私は待てませんでした。

- 発問した直後に、補足の発問を加えたり
- 子どもが発言するたびに、教師が説明を加えたり
- 教師が期待する答えが返ってきたら、すぐに取り上げて授業を進めてみたり…。

発問したら、まずは、じっくり待ってみては？
複数の子どもたちの発言を聴きながら「どこからそう思ったの？(根拠)」「どうしてそう考えたの？(理由)」「だからどう思うの？(主張)」と問い返し、子ども自身が詳しく説明するように促してみては？

「挙手をしていない子どもも指名していますか？」

挙手をしている子どもだけで授業を進めていませんか？ 挙手をしていなくてももしっかり考えている子どもはたくさんいます。挙手をしていない子どもを指名するには、ちょっとした勇気と覚悟がいります。指名した子どもが何も言えなかったり、想定外の考えを言ったりすることも含めて引き受ける覚悟です。そんな時「ごめんね。手を挙げてないものね。先生の責任だね」と対応できたら、子どもたちの心は少し楽になるかも…。

どのこまが一番よく回るでしょう？

- C「Aは正方形だからよく回りそう」
- C「Bは凸凹だからバランス悪そう」
- C「こまは円いからCだ」
- C「どんぐりも上から見たら円い」
- C「Cは小さいし軽い」
- C「それだった、Bの方が小さい」…

